

OWNER'S MANUAL

MiStringer W

日本仕様クロスストリング縫い器

テニスラケット専用です！

MiStringer W でクロスストリング ...P1～P9

保 証 書 ...P10

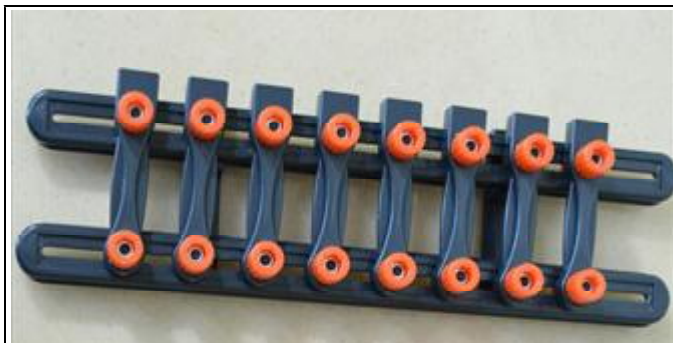
兵丹島

クロスストリング開始

MiStringer W の説明動画を先にご覧ください。

説明動画は検索エンジンから「兵丹島ガット張り作業お役立ち動画」⇒「マイストリンガー W メーカー マニュアルムービー」でご覧いただけます。下記 URL です。

<https://hyotann.raku-uru.jp/fr/28#4>.



MiStringer W のセットアップ。

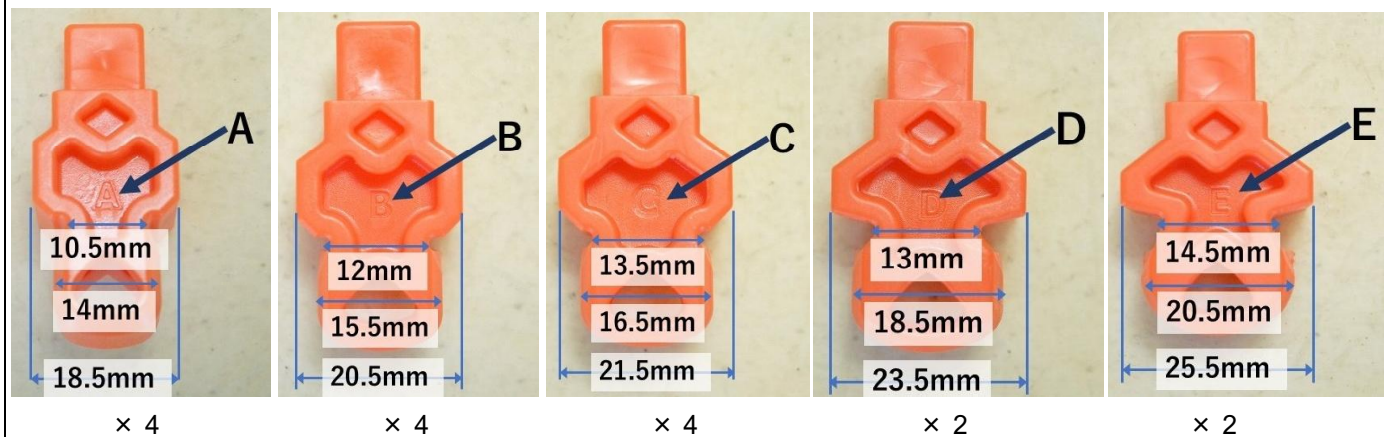
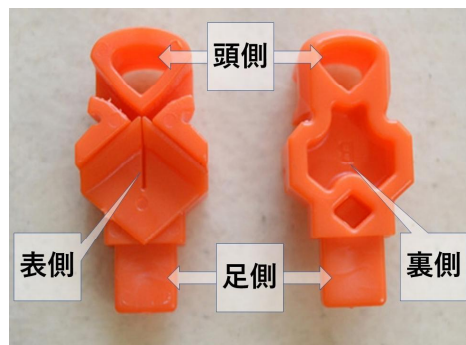
内容品をご確認ください。

1. **MiStringerW** ホルダー × 1

2. **MiStringerW** 駒

- ・中央用駒小型 A × 4
- ・サイド用駒大型 D・E × 各 2 (計 4)
- ・中間用駒中型 B・C × 各 4 (計 8)

駒には上下・裏表があります、ご注意ください。



MiStringerW ホルダーのピッチ（間隔）をメインストリングに合わせて調整します。

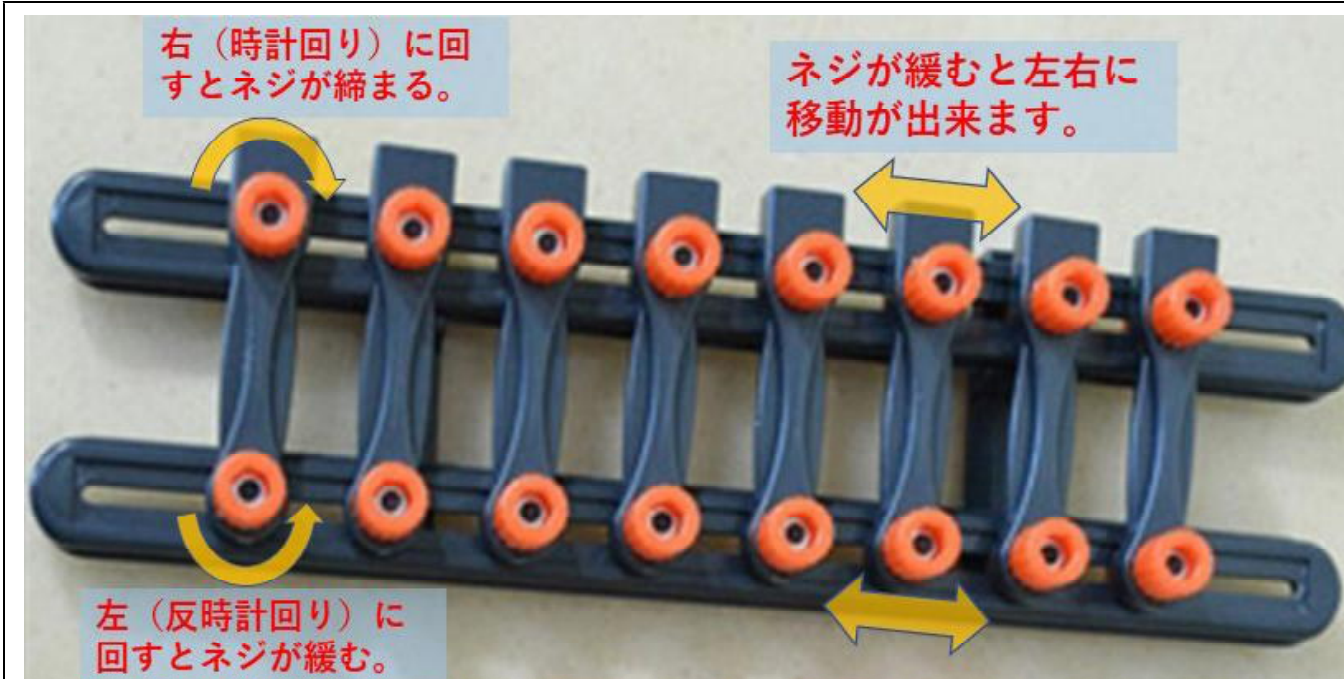
おおよそ、100 インチフェースのラケットに合わせて出荷されています。

1. 右（時計回り）に回すとネジが締まります。ネジが締まった状態で上下のカーソルは平行移動します。
2. 左（反時計回り）に回すとネジが緩みます。
3. ネジを緩んだら、カーソル上を移動させてください。

ネジが緩みすぎたとき、オレンジつまみの内部にあるナットが落下してしまうことがあります。

カーソルは左右に平行に動く程度までオレンジのつまみを回してください。

ナットが落下した場合には、ナットをオレンジのつまみに入れて、少し右に回して再度セットしてください。



まず、中央用小型駒 A を 2 つ、メインストリングの中央部 2 カ所に頭側から裏側をこちらに向けてはめ込みます。



中間用中型駒 B を、中央小型駒 A の左右 2 カ所に頭から裏側をこちらに向けてはめ込みます。



さらに、その左右に、中間用中型駒 C を頭側から裏側をこちらに向けてはめ込みます。



さらに、その左右に、サイド用大型駒 E を頭側から裏側をこちらに向けてはめ込みます。



ホルダーのオレンジのツマミを緩めて、それぞれの駒の足と、ホルダーの足の凹部の位置を合わせます。次に、駒の表側を手前に向けて、駒足をホルダー凹部に挿入していきます。

この時、駒を再び外してしまう必要があれば、駒の足に手洗い石けん液か薄めた洗剤等を塗っておくと、駒が外しやすくなります。



駒の裏側
駒の表側



ホルダーの足に駒の挿入が完了しました。

駒の表側が全て手前を向いているか確認してください。



駒の頭を、ストリングとストリングの間に挟み込みます。

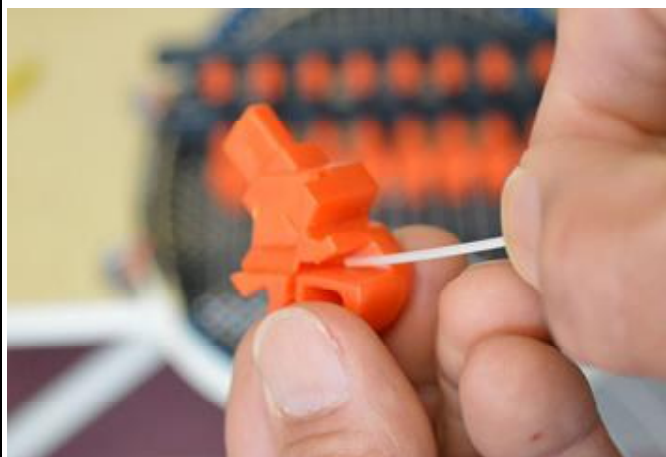
MiStringerW のヒント

ホルダーを左右に傾けたとき、駒と駒が密着していたら、クロスストリングはスムーズに通ってくれます。隙間が空かないように、駒の大きさを調整してください。





最初のクロスストリングを塗っていきます。



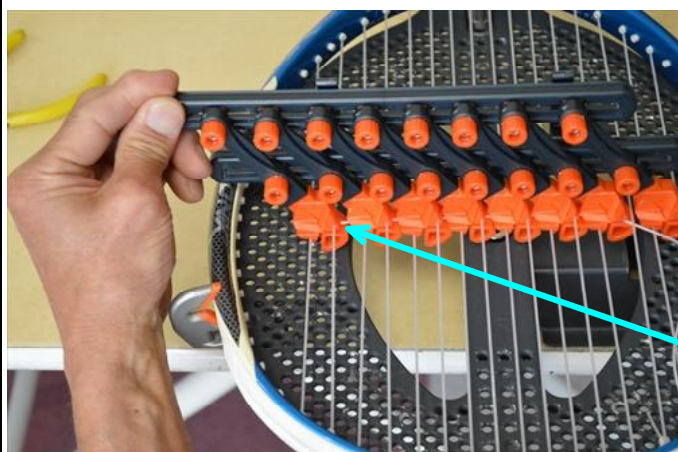
左写真の溝にストリングを通してゆきます。



ホルダーの上部を進行方向（この場合は左）に傾けて、溝に通していきます。

1 本目のクロスストリングは 1 番外側のメインストリングをまたがないため、右から 2 つ目の駒からスタートします

。



スムーズに通すために、ホルダーの傾きを調整してください。

スーと通っていく傾きがあります。

ストリングの先端が出てきました。



ホルダーの傾きの調整で、先端を指で引っ張ることが出来ますが、慣れないうちは、ストリングプライヤ（平ヤットコ）で引っ張ってください。

MiStringerW のヒント

ホルダーを傾けたまま、ストリングを引っ張ってください。垂直に立てると、ストリングを引っ張りにくくなります。



1 本目のクロロストリングが縫えました。



最初のクロスストリングにテンションをかけクランプします。





2本目のクロスストリングを縫っていきます。

大抵のラケットは2本目からは1番外側の駒からストリングを通していきます。



ホルダーを進行方向（この場合は右）に傾けて、左右に調整しながらスムーズに通っていける傾きを見つけてください。

ストリングの先端が出てきました。



ストリングの先端を持って、手前に引き寄せてください。





グロメットホールにストリングを通してください。



このあたりで、正しくメインストリングを波打って上下に縫っているか？
前のクロスストリングと交互になっているか？
確認しておいてください。



クロスストリングにテンションをかけます。



クランプしてください。



同様の手順でクロスストリングを縫っていきます。



ナイロンストリングの場合はあと4～5本の位置で、ポリストリングの場合はあと5～6本の位置で、マイストリンガーWの限界が来ます。マイストリンガーWを左右に傾けることが出来ない場所が限界です。

ご使用のストリングマシンが「マイストリンガー」の場合は”ストリングウィーバー”を使ってください。さらにきつくなった場合には「丸すくい」で縫ってください。

「マイストリンガー」以外のマシンをお使いの場合は、従来通り左右の手指を使って縫ってください。



クロスストリングが縫い終わったらノット（結び）を作って完了です。